

GREEN RADER



A-Policy【重点事業方針】

畜産酪農部の取組み

A-Reports

- ・出荷本格化に向け「ぶどう三姉妹®」「りんご三兄弟®」の
トップセールスを開催…………… 02
- ・第54回 信州フラワーショーサマーセレクション…………… 03
- ・東京と京都でJA中野市・JA長野八ヶ岳の合同トップセールス…………… 04
- ・園芸情報誌『信州のそ菜』・『信州の果実』電子版の提供を開始…………… 05
- ・『はこビュン』で新鮮なモモ「あかつき」をお届け…………… 05
- ・東洋ライス（株）より「世界最高米」を贈呈されました…………… 06
- ・夏リンゴ「シナノリップ」スタート…………… 07

- ・令和6年度JA長野県農業機械推進優秀者表彰式を開催…………… 08
- ・福岡県の宗像大社に県産農産物を奉納…………… 08
- ・新採用職員紹介…………… 09

A-Board

- ・松本山雅FCホームゲーム「JA全農長野デー」10月13日開催…………… 10
- ・JA全農長野の事業現況…………… 10
- ・10月のテレビ・ラジオ番組表…………… 10
- ・編集後記…………… 10

畜産酪農課

畜産酪農部の取組み

新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが季節性インフルエンザと同じ5類に移行されてから1年が経過しました。全国各地でイベントや集会が盛んに開催され、観光名所では国内外の観光客が訪れており、インバウンド効果とともに一部地域ではオーバーツーリズムといわれるほど人出で賑わいをみせています。

一方、ロシア・ウクライナ情勢の影響や為替相場の円安により、生活必需品や電気料金、燃料代等の高騰が続く、消費者の節約志向は依然として強く、消費マインドは上向かない状況です。

畜産酪農の生産現場では、粗飼料・穀物の高騰、海上運賃の高騰、人件費および水道光熱費等、生産コストの増高が農家経営を圧迫しています。ロシア・ウクライナ情勢の収束は未だ先が見えないうえ、中国での需要増加もあり、世界的な穀物需給の混乱は今後も飼料価格に大きく影響することが懸念されています。また、配合飼料価格の高値続きにより、配合飼料安定基金の

発動も厳しく、生産者の不安は払拭されていません。

このような状況の中、令和6年度、畜産酪農部は補完的な生産により数量確保を図りながら、信州産ブランドの販促強化等、有利販売の仕組みを維持強化し、農家所得の確保を目指して生産基盤の維持が図れるよう、次に掲げる具体策をもって事業に取り組みます。

1. 生産基盤維持と販売数量の確保

(1) 受精卵移植頭数の拡大によるET^{*1}和牛子牛確保^{*2}

(2) 新規事業OPU^{*2}による優良受精卵の確保と農家経費削減

(3) 長野県中央家畜市場のEBL^{*3}自主検査結果公表による市場活性化

(4) 搾乳頭数の確保と乳質改善対策

(5) 県本部奨励施策による生産基盤の維持確保

2. 信州産ブランドの販売強化と生産性向上による農家所得の増大

(1) 信州産ブランド畜産品の県内外での

販売促進強化および信州プレミアム

牛肉の輸出拡大に向けた市場・買参

人・販売会社との取組み強化

(2) 関係機関と連携した乳質改善、ポジ

ティブリスト全戸巡回の実施

(3) 生産性向上巡回の継続実施および販

売促進の取組み強化

(4) 畜産・酪農情勢についての理解醸成

運動の継続的な取組み

(5) ET^{*}和牛子牛の生産と販売推進によ

る副収入の確保

3. 県本部生産農場の機能充実と経営の安定

(1) 三岳牧場／安定的な子牛供給、預託

頭数の拡大、ET、OPU事業推進

(2) ハケ岳牧場／生産性向上による生乳

出荷量の確保、搾乳頭数増加による

信州産生乳の確保、教育ファームに

よる酪農理解醸成活動の強化

(3) SPF豚繁殖センター／販売子豚頭

数の確保と優良子豚の産出による県

内SPF豚事業の拡大

4. 地域畜産酪農営農センターの機能強化

(1) 営農技術員の資質向上によるセンター機能強化

(2) 地域畜産酪農営農センター運営体制の継続協議

5. 県内食肉処理施設に関する協議

(1) 移転候補地に関する住民説明、行政機関および関係機関との協議

(2) 新施設建設に向けた食肉流通体制の整備

*1 ETⅡ受精卵移植
*2 OPUⅡ経腔採卵
*3 EBLⅡ牛伝染性リンパ腫



街頭での畜産・酪農の理解醸成運動

出荷本格化に向け「ぶどう三姉妹®」のトップセールスを開催

ＪＡ全農長野と長野県は９月９日（月）、大阪市中央卸売市場で今が旬の「ぶどう三姉妹®」とこれから本格出荷を迎える「りんご三兄弟®」のトップセールスを行いました。全農長野運営委員会の神農佳人会長と長野県の阿部守一知事が市場関係者等に売り込みました。（＝表紙上）

阿部知事は「今年も長野県のおいし



神農会長あいさつ

い果物をしっかりとお届けします」と約束し、神農会長は「今年は凍霜害もなく、ブドウもリンゴも順調に生育しました。長野県のおいしいリンゴとブドウ、今年もよろしくお願いします」とＰＲしました。用意した「ぶどう三姉妹®」の食べ比べパックは２００パック以上があつという間に終了し、関心の高さが感じられました。競売場



阿部知事あいさつ

は買参人で賑わい、市場関係者からも「今シーズンもしっかりと販売していきたい」と意気込みが聞かれました。今年度の販売量は「ぶどう三姉妹®」が計８、７０８トン（昨年度比４％増）、「りんご三兄弟®」が９、８２６トン（昨年度比２５％増）を予定しています。



サンプルを配布する神農会長



第54回 信州フラワーショーサマーセレクション

農林水産大臣賞に有賀美和さん（JA上伊那）の
アルストロメリア

第54回 信州フラワーショーサマーセレクション入賞者名簿（敬称略）

		品 目 名	品 種 名	氏 名	J A 名
農林水産大臣賞	1点	アルストロメリア	ワンダースイート	有賀 美和	上伊那
農林水産省農産局長賞	2点	トルコギキョウ	ハビネスホワイト	小池 真喜	信州諏訪
		アルストロメリア	ミストラル	古畑 雅一	上伊那
農林水産省関東農政局長賞	2点	輪ギク	岩の白扇	迎 弘樹	信州諏訪
		スタンダードカーネーション	マンダレイ	小池 直志	信州諏訪
全農会長賞	4点	アルストロメリア	ライムライト	篠原 俊	信州諏訪
		リンドウ	アルプスの蒼風	遠藤 清保	信州諏訪
		シンフォリカルボス	チャミングファンタジー	梨元 茂	ながの
		アルストロメリア	マリアベール	小池 潤	信州諏訪
長野県知事賞	6点	トルコギキョウ	ボヤージュイエロー	塩入 敬志	信州うえだ
		ディズバットマム	シャボン	迎 弘樹	信州諏訪
		スタンダードカーネーション	ミモザ	阿部 和博	佐久浅間
		ベニスモモ	ファスティギアータ	梨元 茂	ながの
		トルコギキョウ	しずく	唐澤 健治	上伊那
		アルストロメリア	ジーク	山田 秀一	松本ハイランド
		輪ギク	星の輝	名取 照雄	信州諏訪
日本花き卸売市場協会会長賞	3点	アルストロメリア	パール	農事組合法人 らいふ	上伊那
		ダリア	シャイニーオレンジ	大槻 久	みなみ信州
フラワー産業議員連盟会長賞	1点	アルストロメリア	ピンクティアラ	松澤 広	上伊那
長野県農協中央会長賞	6点	グラジオラス	夕映	滝沢 誠一	信州うえだ
		スタンダードカーネーション	カンナ	星野 仁志	信州諏訪
		アルストロメリア	ゼンブラ	半田 航志	信州諏訪
		アルストロメリア	オーロラ	伊藤 哲	上伊那
		ワレモコウ	ワレモコウ	藤澤 隆一	ながの
		トルコギキョウ	ボヤージュ2型ライトピンク	両角 哲雄	信州諏訪
全農長野県本部長賞	6点	ディズバットマム	セイグリスター	田中 学	信州諏訪
		アルストロメリア	ルミナス	丸田 修央	上伊那
		アルストロメリア	エデン	矢沢 光洋	信州諏訪
		アルストロメリア	ピンクティアラ	倉田 良作	上伊那
		フウセントウワタ	フウセントウワタ	西村 勇	信州うえだ
		トルコギキョウ	レーベジ	株式会社 カルチパフローレス	上伊那
長野市長賞	2点	スタンダードカーネーション	ファンファーレ	百瀬 明	松本ハイランド
		セダム	オータムジョイ	竹林 一ニ	グリーン長野
フラワーショー運営委員長賞	9点	リンドウ	アルプスの白風2	小林 重人	信州諏訪
		アルストロメリア	スターライト	株式会社 アグリコ	上伊那
		スターチス一年生	フレンチピンク	百瀬 友満	信州諏訪
		アルストロメリア	マッサ	赤羽 隆芳	上伊那
		トルコギキョウ	セレブリッチホワイト	金井 定男	信州うえだ
		スタンダードカーネーション	フレグランス	小澤 真一	佐久浅間
		ダリア	オレンジストーン	田畑 保廣	みなみ信州
		トルコギキョウ	ミンクメロン	宮崎 智樹	信州うえだ
		フジバカマ	フジバカマ	藤澤 隆一	ながの

JA全農長野と全農長野花き専門委員会は9月5日（木）と6日（金）の両日、長野市のJA長野県ビル・アクティーホールで「第54回信州フラワーショーサマーセレクション」を開催しました。（Ⅱ表紙左下）

総出品数は332点に上り、どれも優れた素晴らしいものでした。今年の厳しい気象経過を感じさせない花々は、生産者の皆様のきめ細かい栽培管理の賜物です。会場には長野県が生産量日本一を誇るカーネーションやトルコギキョウ、キク類、生産振興を進める夏出荷のアルストロメリア、また、秋を感じるセダムやワレモコウなど、本県の多種多様な切り花が並びました。

審査は、長野県野菜花き試験場や市場担当者で構成された12名の審査員により、開花状態や見た目の美しさのほか、市場性についても審査され、最高賞の農林水産大臣賞にはJA上伊那有賀美和さんのアルストロメリア「ワンダースイート」が選ばれました。（Ⅱ

表紙右下）

また、花き青年部の皆様によるフラワーアレンジメントの制作も行われました。講師にアレンジのコツを教わりながら、花それぞれの特徴を生かした思い思いの作品を完成させました。

一般公開では、出品物の予約販売や花束、青年部制作のアレンジメントの即売を実施しました。事前告知を強化し、多くの来場者に長野県花きをお楽しみいただくことができました。

次回は、令和7年1月23日（木）・24日（金）の日程で信州フラワーショーウィンターセレクションを開催する予定です。



審査員が開花状態や見た目の美しさ、市場性等を審査

東京と京都でJA中野市・JA長野八ヶ岳の合同トップセールス

JA中野市とJA長野八ヶ岳は合同で、9月6日(金)に東京都中央卸売市場・大田市場で、7日(土)に京都市中央市場・京都青果合同で、野菜・きのこ・果実のトップセールスを開催しました。市場関係者や仲卸等の実需者の皆様に、これから最盛期を迎えるハクサイ、きのこ、ブドウを中心にPRを行いました。今年度、この2JAが合同でトップセールスを行うのは2回目で、今回の2市場での開催は1年ぶりです。

JA長野八ヶ岳の津金一成組合長は「ハクサイときのこは鍋に非常に合う品目。これから鍋の時期を迎えるが、産地としてしっかり供給していくのでPRをお願いしたい」、JA中野市の望月隆組合長は「今年の果実は天候にも恵まれ、糖度が高く味も良いものに仕上がった。きのこもトラブルなく安定生産ができています。今後とも間違いのない品質・量を供給していく。鍋のおいしい季節になるのでお客様に安心して勧めていただきたい」とアピールしました。



大田市場の出席者

場内では、プレゼント用に各JAのオリジナルグッズと特産品を配布しました。また京都市場では「きのここと白菜のひとも浅漬け」の試食を提供し、ハクサイのシャキシャキとした歯応えときのこの旨味が相まって大変好評でした。

残暑の中での合同トップセールスと

ました。

なりまし
たが、関
係者に協
力いただ
き、盛大
に開催することができました。全農長
野北信事業所は、今後も北信地区、ま
た長野県の農産物のPRを進めて参
ります。



京都青果合同の出席者



両JAの旬の農産物



京都青果合同での特産品配布と試食提供



大田市場での特産品の配布

園芸情報誌

『信州のそ菜』・『信州の果実』 電子版の提供を開始

JA全農長野生産振興課は7月1日(月)より、スマートフォンやパソコンで読める園芸情報誌『信州のそ菜』・『信州の果実』電子版の提供を開始しました。

『信州のそ菜』・『信州の果実』は、JA全農長野が毎月発行している農業専門誌で、1956年の創刊以来約70年の歴史を持ちます。栽培技術をはじめ、長野県の品種育成や農業振興の取り組みや、生産現場で役立つ資材の紹介、販売・流通の最新トレンドなど、農作業や農業経営に役立つ情報を毎月掲載してきました。

電子版では最新号に加えて、過去5年分の豊富なバックナンバーも掲載しています。記事を簡単に検索できるキーワード検索機能や、読み返したい記事を保存できるクリップ機能など、電子版ならではの便利な機能を搭載しています。

価格は電子版特別価格として、冊子版から約12%オフの税込4,400円(長野県内農協組合員限定・1年間1誌あたり)でご提供しております。購読のお申し込みはWEBサイトから行うことができ、お支払いにはクレジットカードがご利用いただけます。

『信州のそ菜』・『信州の果実』電子版をぜひご利用ください。皆様のご購読を心よりお待ちしております。



JA全農長野 園芸情報誌



『はこびュン』で 新鮮なモモ 「あかつき」をお届け

JA全農長野営業課は8月2日(金)と5日(月)、都内の青果店「澤光青果」5店舗で、JA信州うえだ産のモモ「あかつき」のPRを行いました。

輸送はJR東日本物流が提供する物流サービス『はこびュン』。当日朝に収穫されたモモはJR長野駅9時26分発のあさま612号で東京駅まで運ばれ、正午過ぎには店頭に並びました。鮮度を最大限にPRすることができ、収穫から24時間以内に売り場に並んだモモは、その日のうちに完売となりました。



JR 長野駅で積み込みを待つモモ

東洋ライス(株)より 「世界最高米」を贈呈されました

東洋ライス(株)が、日本のコメの評価を世界的に高めるとともにコメ生産者に夢と希望をもってもらうことを目指す「世界最高米」事業において、8月21日(水)に同社の阪本哲生社長がJ A全農長野の長谷川孝治県本部長を表敬訪問され、「世界最高米」を贈呈されました。

「世界最高米」は、最高に美味な玄米を厳選し、それを同社独自のブレンド技術、精米技術、熟成技術によって一層食味と健康効果を高め、いわゆる世界最高の価値を有するコメとして、また最高価格のコメとして販売されます。

この事業で最も重要となる原料玄米は、2023年12月に新潟県津南町で開催された「第25回米・食味分析鑑定コンクール…世界大会」(米・食味鑑定会主催)において、「国際総合部門」および「栽培別部門 米の精」で金賞を受賞した玄米の中から、同社独自の基準「酵素活性」「美味と生命力」に重点を置いて厳選、新潟県、長野県、岐阜県、熊本県の合計4品を認定し、ブレンドされています。

これらの玄米は「熟成」「精米」等の技術により最高品位の「金芽米」に仕上げられ、7月に1409(一合分)6袋入り1万8000円で販売されました(現在は販売終了)。

同社は長野米の重点取引先であり、日本のコメの

価値を高めるべく様々な事業を展開しています。



世界最高米を持つ長谷川県本部長(左)と阪本副社長(右)



正午過ぎに売り場に並んだ



11時12分に東京駅へ到着

夏リンゴ「シナノリップ」スタート

J A全農長野果実花き課は、長野県オリジナル品種の夏リンゴ「シナノリップ」のスタートイベントを実施しました。

（株）R&Cながの青果の協力の下、8月8日（休）朝6時15分より、長野本社の売り場で宣伝会を行いました。10kg入りの箱を陳列し、シナノリップのジュースを買参人に配布。同社の堀陽介社長にもご参加いただき、シナノリップの魅力と一緒に伝えながらPRしました。受け取った方から「シナノリップいいね、取り扱いたい」「ジュースもおいしい」などの感想をいただきました。



動画で産地を紹介



堀社長ら関係者（左から4人目）

8月9日（金）～11日（日）には、長野駅ビルMIDORI内に今年オープンした「フルーツカンパニー」で試食宣伝会を行いました。事前に長野駅前の大型ビジョンで動画を放映し、ラジオや新聞でも告知したため、多くのお客様が訪れて賑わいました。試食をされた方を対象に「あなたのシナノリップの推しポイントを教えてね」と称してアンケート調査を行いました。



シナノリップの売り場



動画を放映した長野駅前の大型ビジョン



推しポイントにシールを貼っていただきました

「ジューシーさ」「甘味と酸味のバランス」「シャキツとした食感」の3択で、結果は僅差で「ジューシーさ」が一番でした。試食をして購入されたお客様は「夏のリンゴもおいしいのね」「お盆用に買っていく」「お土産に贈りたい」「夏は食欲がなくなるが、甘過ぎないこのリンゴなら食べられそう」という感想をいただきました。

全農長野果実花き課は、今後もシナノリップの認知度向上に努めながら販売促進を図って参ります。

令和6年度JA長野県 農業機械推進優秀者表彰式を開催 県内20名のJA農機担当者が受賞

長野県農協生産資材事業推進協議会農機専門部会は8月28日(水)、長野ホテル犀北館で「JA長野県農業機械推進優秀者表彰式」を開催しました。この表彰は、事業計画達成に向けた提案活動強化およびJA農機担当者のモチベーション向上を目的に、今年度より開始したものです。

表彰式では、組合員への積極的な推進活動を展開した成績上位者20名が優秀賞を受賞しました。

受賞代表者挨拶では、JA信州諏訪の木下光係長が「気候変動による農作物の不作や機械の小売価格上昇等、農家経営は年々厳しさを増しており事業への影響が懸念されるが、JAの強みである共同購入や県域推奨機などの購買が農家経営の一助となるよう今後も推進活動に取り組んでいきたい」と力強く語りました。



令和6年度JA長野県農業機械推進優秀者表彰対象者(敬称略)

支部	所属	氏名
東信	㈱オートバール佐久浅間	畠山 千春
東信	㈱オートバール佐久浅間	大草 康雄
東信	㈱オートバール佐久浅間	赤羽根 謙一
東信	㈱オートバール佐久浅間	荻原 栄一
南信	JA上伊那	伊東 利夫
南信	JA上伊那	東金 利夫
南信	JA上伊那	唐澤 隆次
南信	JA上伊那	北沢 智
南信	㈱オートバールいいた	伊藤 宗典
中信	JA信州諏訪	木下 光
中信	JA大北	丸山 康光
中信	JA信州諏訪	森元 國晴
中信	JAあづみ	中村 寿陽
中信	JA松本ハイランド	手塚 昌次
中信	JA松本ハイランド	小澤 良輔
北信	JAながの	宮川 祐一
北信	JAながの	西澤 隆雄
北信	JAながの	金井 敦
北信	JAながの	長野 厚志
北信	JAグリーン長野	井出 徹

福岡県の宗像大社に 県産農産物を奉納

JA長野八ヶ岳、JAあづみ、JA全農長野は8月24日(土)、福岡県宗像市の世界遺産である宗像大社に、県産農産物の認知度向上と生産販売隆盛を祈願し、奉納しました。

一行は、リンゴ「サンつがる」、レタス、ハクサイ、リンゴジュース、トマトジュースを奉納した後、宗像市行政関係者などと共に、参拝者にお裾分けとしてサンつがるとレタス、トマトジュース300個を配り、県産農産物の知名度向上を図りました。参拝者は「子供がリンゴもレタスも大好きなので、お裾分けでもらえたのは嬉しいです」「長野県産のリンゴは食感も良く、甘くて美味しい」と言って受け取りました。

祈願・奉納の前には、JAあづみの宮澤清組合長が北九州中央卸売市場でトップセールスを行いました。

市場関係者や仲卸などに、出荷最盛期となるリンゴ「サンつがる」の魅力ある相場形成を要請。宮澤組合長は「昨年度は凍霜害等の影響から販売先へ思うように供給できなかったが、今年度は着果良好で色づきも良かったため、JAあづみ産リンゴの消費に繋がっていきたい」と話しました。

宗像大社への奉納は、海の街・宗像市と山の街・松本市の都市間交流がきっかけとなり、2015年から開始しました。



新採用職員紹介

令和6年度の新採用職員を順次ご紹介します

北信事業所

営農資材課

えざき ななこ
江崎菜々子



肥料を担当しています

初めまして、北信事業所営農資材課の江崎菜々子と申します。幼少期は大手町で過ごしました。実家は現在大分県にあり、約12年振りに長野県に帰ってきました。

休日は散歩をしながら美味しいものを探したり、家でゲームをしたりしています。

農業に関する知識は乏しいので、勉強の毎日です。至らぬ点も多いですが、少しでも皆様のお力になれるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。

北信事業所

生活課

にしざわ ともひろ
西澤友博



ガスの充填所で撮りました！

はじめまして。北信事業所生活課の西澤と申します。出身は長野市です。スポーツ観戦が好きで、休日はよくサッカーやバスケの試合を観に行っています。

現在はガスの担当です。入会するまではあまり馴染みのない分野でしたが、業務に携わるうちに色々な発見があり、毎日が新鮮で充実しています。まだまだ至らない点ばかりですが、少しでも早く皆様のお力になれるよう精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。

東京販売事務所

あおき はやと
青木 勇斗



朝土場でえのきたけとともに撮った写真です

はじめまして、東京販売事務所の青木勇斗と申します。

出身は佐久市で、新幹線が通っている地で育ちました。大学時代は横浜に住んでいたこともあり、東京という地には慣れ、City Boyになってきております。幼いころから野球をやっていたこともあり、スポーツ観戦やスポーツをすることが大好きです。

現在はきのこを担当しております。分からないことだらけですが、東京のきのこ担当としてたくさんの知識を習得し、長野県産きのこやきのこ界全体を盛り上げていけるよう精進します。

JA全農くみあい
飼料株式会社

きよさわ あらた
清澤 新太



飼料タンクの前で撮りました

はじめまして、JA全農くみあい飼料の清澤新太です。生まれは松本、育ちは長野です。好きなことは野球と音楽を聴くことです。特に野球は小学2年生から現在まで続けています。無心になれるのが好きで休日も野球をしていることが多いです。

現在は鶏と豚の担当をしています。農業は初めてなので毎日未熟さを感じていますが、早く皆さんの力になれるよう、今はとにかく行動していきます。よろしくお願いいたします。

JA全農長野の事業現況▶

令和6年度8月末部門別実績表

(単位：百万円、%)

部門	区分	実績	計画比	前年比
生産振興課		4	0	0
野菜種苗センター		104	93	102
生産振興部計		108	96	105
米	穀	7,120	112	128
果実花き		15,028	107	109
野菜きのこ		34,080	94	100
営業		6,118	90	102
生産販売部計		62,346	98	105
包装資材		3,889	104	105
生産資材		4,198	101	105
農業機械		2,875	99	103
施設住宅		1,751	98	33
生産購買部計		12,713	101	81
畜産酪農		13,260	104	101
三岳牧場		127	75	103
SPF繁殖センター		105	81	89
八ヶ岳牧場		135	100	119
畜産酪農部計		13,627	104	101
燃料・ホームエネルギー		9,819	99	98
SS協同経営		3,244	107	99
生活		3,347	103	89
生活部計		16,409	101	96
長野県本部計		105,203	100	100

(内部販売高含む)

10月のテレビ・ラジオ番組表▶

放送日時	放送局	番組名	放送内容(予定)
10月1日(火) 13:45	abn長野 朝日放送	いまだキッ!	果実トップセールスの紹介
10月8日(火) 11:50	SBC ラジオ	坂ちゃんのずくだせえぶりでい内 「いいJAん家庭菜園」	JAファーム
10月10日(木) 10:13	SBC ラジオ	坂ちゃんのずくだせえぶりでい内 「ラジオカーレポート」	リンゴ特集
10月19日(土) 9:30	abn長野 朝日放送	駅テレマルシェ「マル得マルシェ」	リンゴ特集
10月20日(日) 10:00	文化放送	おかしば	リンゴ特集
10月23日(水) 11:50	SBC ラジオ	坂ちゃんのずくだせえぶりでい内 「暮らしの応援団」	米穀課
10月31日(木) 10:13	SBC ラジオ	坂ちゃんのずくだせえぶりでい内 「ラジオカーレポート」	リンゴ特集

>>> A-Board

総務広報課からのお知らせ

松本山雅FCホームゲーム 「JA全農長野デー」 10月13日(日)開催



昨年の全農長野デー

© 松本山雅 FC

サッカー J3 松本山雅FC のホームゲームで、
マッチデー「JA全農長野デー」を開催します。
長野県産農畜産物のPRイベントが盛りだくさんです。

日時：2024年10月13日(日) 13:00キックオフ
vs ツエーゲン金沢

イベント開始時間：ファンパーク 10:00

第1ゲート 10:30

イベント内容

- ◇ 人気汁物決定戦
- ◇ 松本山雅FCデザインの軽トラック注文受付
- ◇ 「信州発えのきヨーグルト」サンプリング
- ◇ 農産物の購入・食に関するアンケート調査
- ◇ ガンズ君×農業 フォトブース など

皆様のご来場をお待ちしております。

グリーンリーダー
X(旧ツイッター)
はこちら



グリーンリーダー
WEB版はこちら



編集後記

8月末に発生した台風10号は、列島各地に大雨や交通機関へ1週間にも及ぶ影響をもたらした「超ノロノロ台風」でした。また、9月22日(日)には能登半島地震の被災地で記録的な大雨で地震と大雨の二重の被害を受けた状態となり、復旧・復興への影響が心配されます。

9月13日(金)~14日(土)に全農関東甲信地区役員親睦野球大会が開催されました。長野県本部は17名からなるチームを派遣し、3位入賞となりました。今年のチームは平成10年以降生まれの若手が主力となり、優勝した群馬県本部に敗れましたが、大変にレベルの高い試合内容、なによりも熱き血汗に感動しました。

その感動のままに、間もなく私も人生初チャレンジとなる、SSTR(サンセット・サンライズ・ツーリング・ラリー)へ出走します。今年元旦に発生した能登半島地震、更に大雨被害を受けた奥能登の復興はまだ長い道のりですが、能登の皆さまより「ぜひSSTRを開催してほしい」との声により第12回SSTRは「WITH US」(我らと共に)をキャッチフレーズに開催されます。「二人ひとりのライダ」の想いが集まることで大きなうねりを生み、やがて大きな活力となつて能登を元気づけられるのではないかと、そんな想いを込め、10月5日~10月19日の15日間、延べ14,000名の全国のオートバイ愛好家が、日の出と共に東の海岸をスタートし、太陽を追いかけてながら日本列島を横断し、日没までに石川県千里浜のゴールを目指します。

「がんばる一能登」

(一)

ごっつあんです

信州の 農畜産物



JA全農長野は、長野県の農畜産物をとおして御嶽海関を応援しています

グリーンリーダー10月号（毎月発行） 2024年9月20日発行
発行／JA全農長野 長野市大字南長野北石堂町1177番地3 第545号
発行人／長谷川孝治 印刷／PO印刷株式会社 長野市青木島3丁目3番地3



光と風と水のハーモニー

JA全農長野



JA 全農長野ホームページ…………… <https://www.nn.zennoh.or.jp>
インターネットで産地直送「JA タウン」…………… <https://www.ja-town.com>

